

大学入試改革—プレテスト踏まえた授業案

2021年1月から導入される「大学入学共通テスト」に通用する力をどのように生徒に付けさせるか。今回から毎週、各教科のスペシャリストに授業を提案してもらいます。(1面参照)

英語

Why? 問い続け ディベート力

リアルな社会で使うために

今年2月に実施された試行調査(プレテスト)の問題を見ると、筆記(読解)試験、聞き取り(リスニング)試験とも具体的な場面を設定して「英語を使う力」を測定することを重視していた。

今まで出題されていた発音・アクセント問題や文法や語順を問うような、いわゆる暗記重視の問題がなくなり、よりリアルな社会と自然な場面設定の中で使われることを意識した出題になっている。

これまで、高2くらいまで4技能を育てる実践的な授業をしていても、3年になると、たとえ生徒が滑らかにディベートなどをできるようになっていても、発音・アクセントをペーパーで問う問題に慣れさせなければならなかった。これが、最後まで4技能を育てる実践的な英語の授業を行うことができるようになるのである。

例えば、筆記の第1問ではウェブサイトやポスター、第3問では旅行記のブログ、新聞のコラムと

いった実際の社会で使われている英語を読むことを想定した問題だ。学校で使われる英語を読むことを想定した問題もある。第4問ではレポート、第5問Aでは学校新聞を読んで情報を整理する力を見る出題である。これらは、授業中にインターネットなどで実際に使われている英語を読む活動を経験したり、授業でレポートや新聞作りを行い、生徒同士で読み合う活動をしたりしている生徒にとっては難しくないであろう。

さらに、大きな特徴は、英語で話したり、書いたりして発信することを意識した出題も見られることである。今回のプレテストでは、実際にスピーキングとライティングの力を測る問題は出題されなかったが、発信する前段階の理解を見る問題が見られる。

例えば、第2問Bでは、ディベートの準備をしている場面を設定し、賛成、反対の意見を整理して理解する力が必要になる。Bでは



山本 崇雄
東京都立武蔵高校 指導教諭

スパイスに関するプレゼンテーションの準備を行う設定だ。第6問ではサマーキャンプの内容や感想をまとめる場面を設定し、登場人物の特徴等を含む物語の概要を把握する力を問う。この問題の対策としては、授業で実際にディベートやディスカッションを行ったり、英語でプレゼンテーションをさせたり、活動のレポートを英語

1 時間目

アイスブレイク	ペアグループ(4~6人) ・高校生ができるアルバイトをできるだけ挙げる ・やってみたいアルバイトとその理由を英語で話す
目標の提示	Japanese high school students shouldn't work part-time. 「日本の高校生はアルバイトをするべきではない」 この意見に対して、賛成、反対を英語で言えるようになる
導入	グループ(4~6人) ・高校生がアルバイトをすることの利点と欠点を付箋でできるだけ挙げる ・ギャラリーウォークなどで共有する
展開	ペアグループ(4~6人) 第2問Bの問題を読んで整理する ・高校生がアルバイトをすることに肯定的な意見に赤でアンダーライン ・高校生がアルバイトをすることに否定的な意見に青でアンダーライン
まとめ	・筆者は賛成か反対かを考える ・自分の意見を10文程度で書く

2 時間目以降

1時間目に書いた文を使って以下のような発展的な活動が考えられる。

- ・スピーチを行う
 - ・4~6人のグループをつくり、ミニディベートを行う
- 以下のような簡易な形だと取り組みやすい。時間は全て3分。

- ①賛成側立論
 - ②反対側質問
 - ③反対側立論
 - ④賛成側質問
 - ⑤反対側反駁(反論)
 - ⑥賛成側反駁(反論)
 - ⑦反対側最終弁論
 - ⑧賛成側最終弁論
- ・慣れている学校は、ディベート大会のフォーマットで行うとよい。

第2問B(一部掲載)

B You are going to have a debate about students working part-time. In order to prepare for the debate, your group is reading the article below.

Students and Part-Time Jobs

According to a recent survey, about 70% of Japanese high school and university students have worked part-time. The survey also reports that students have part-time jobs because they need money for going out with their friends, buying clothes, and helping their families financially. Even with such common reasons, we should consider the following question: Is it good or bad for students to work part-time?

Some people believe that students learn several things from working part-time. They come to understand the importance and difficulty of working as well as the value of money. Moreover, they learn how to get along with people. Students can improve their communication skills and gain confidence.

Others think that there are negative points about students working part-time. First, it may harm their studies. Students who work too hard are so tired during class that they might receive poor grades in school. Second, it seems difficult for students to balance work and school. This could cause stress. Third, students may develop negative views of work itself by working too much. They may become less motivated to work hard after graduation.

What do you think? In my view, part-time work is not always bad for students. My point is that students shouldn't do too much part-time work. Research suggests that if students work part-time over 20 hours a week, they will probably have some of the negative experiences mentioned above.

表現を少しずつ導入

ここでは、筆記の第2問Bを取り上げ、授業にディベートを取り入れる実践を紹介したい。いきなりディベートなど「議論しろ」といってもなかなかうまくいかない。まず長い時間をかけ継続的に指導していくポイントを紹介する。

①Why? を問い続ける

日本の教室ではディベートなど議論する場面が少ないといわれている。まず、生徒たちには、常に「Why?」(なぜ)を問い続け、理由を考えさせる習慣を身に付けさせたい。中学生であれば、
A: Do you like baseball?
B: Yes, I do.
A: Why do you like baseball?
B: Because it's exciting.
A: Why is baseball exciting?
B: ...
といった感じだ。うまく答えられ

ない経験をするのも大事である。「答えられるようになりたい」とポジティブに捉えていく雰囲気づくりも心掛けたい。高校では、TOEFLなどのライティングトピックなどを使い、自分の意見を考えさせ、なぜそう思うのかを問い続けることが大切である。

例えば、Do you agree or disagree with the following statement? Television has destroyed communication among friends and family. といった賛成か反対を表明する問いが取り組みやすい。賛成か反対かを述べさせ、Why do you agree/disagree with this statement? と理由を聞いていく。「Why?」を問い続けることにより、自分の意見に理由を付けて考える習慣が身に付いていくのである。

少しずつ導入する

<意見を言う>
I think/guess/believe...など
In my opinion, ...

<賛成・反対を言う>
I agree with... /I'm on... /I support...
I don't agree with... /I'm against... /I oppose...

<引用する>
He/She said, "... " but I think...
According to Kyoiku Shimbun, ...

<結論を言う>
In conclusion, ...
I strongly support/oppose this idea.

こういった表現を導入の会話や教科書の内容などに絡めながら生徒とやりとりすることで、生徒たちは上記のような議論でよく使われる表現に自然に慣れ親しんでいくだろう。

第5回

夏の教育セミナー

主催：日本教育新聞社 / 株式会社 ナガセ (東進ハイスクール・東進衛星予備校)

この夏8月に、全国12都市で開催!

5年目となる本年は
より実践型へ!

昨年8月、全国12会場で「夏の教育セミナー」を開催。約5,000名の先生方にご来場いただきました。今年も大盛況が予想されます。ぜひご参加ください!

*プログラム詳細は順次公開いたします。もうしばらくお待ちください。

予告

全国12都市・会場にて、
順次開催いたします。
お近くの会場へ、ぜひご参加ください。



開催地・日程

8/1水 仙台 [会場] TKPガーデンシティ仙台	8/2木 大宮 [会場] パレスホテル大宮	8/3金 東京 [会場] ベルサール新宿ブランド
8/4土 札幌 [会場] 札幌コンベンションセンター	8/6日 福岡 [会場] ヒルトン福岡シーホーク	8/7火 広島 [会場] 広島コンベンションホール
8/8水 横浜 [会場] 横浜ロイヤルパークホテル	8/9木 大阪 [会場] コングレコンベンションセンター	8/10金 金沢 [会場] ANAクラウンプラザホテル金沢
8/17金 神戸 [会場] ホテルオークラ神戸	8/20日 千葉 [会場] 三井ガーデンホテル千葉	8/21火 名古屋 [会場] 名古屋観光ホテル